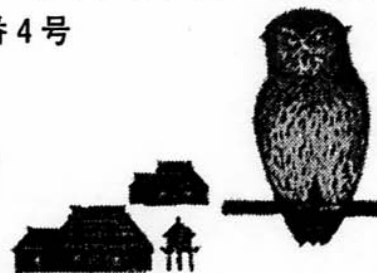


コタンメール

第12号 2004年10月20日 発行



「学習応援室」大人気

解説員が親切に対応

アイヌ民族博物館に新しい学習応援室が誕生しました。この頃、小中学生が自由研究や総合学習の調べで来館したり、大人の方々の疑問に答えることが多くなりました。そこで、この学習応援室が作られたのです。

ここでは、アイヌ文化を学べるDVD映像や、インターネットで情報が得られるパソコン、アイヌ文化に関する参考書や絵本などが揃えられていて、自由に利用することができます。また、ムックリの練習やアイヌ文様の刺繍などを体験できます。

室内には学習指導解説補助員がいて、お客さまの質問に答えたり、解説や学習のお手伝いをします。少し難しい質問や、研究者の方々、学校の先生方のためには、学芸員や伝承専門員がお相手いたします。ぜひ一度、新装開設の学習応援室をご利用ください。

ミュージアムショップ「イカラカラ」もリニューアルオープンいたしましたので、お立ち寄りください。



インターネットやアイヌ文化に関する本が利用できます



アイヌ文化を紹介するDVD映像に見入る観客

第3回アイヌ文化教室のお知らせ

「アイヌの歌謡について」

と き:平成16年11月20日(土) 17:00~18:30

と ころ:アイヌ民族博物館 研修室(2F)

講 師:萩中 美枝 氏(日本口承文芸学会会員)

お申し込み・お問い合わせは

アイヌ民族博物館 学芸課 TEL 0144-82-4199 までご連絡ください。

大学生がアイヌ語に挑戦

苫小牧駒澤大学で

10月10日午後、アイヌ民族博物館、苫小牧駒澤大学共催の、国際スピーチコンテストが駒澤大学で開催され、留学生による日本語部門、英語部門に並んで、アイヌ語部門も行われました。アイヌ語のコンテストは第2回目で、今年は学生4名と一般が出場、「ホテルの婿選び」「キツネのチャランケ」などが詠唱されました。第1位の栄冠は「子守歌」を唄った国際文化学科1年の押野里架さんでした。発音が正確で、自分のものになっていることなどが評価されました。

審査員特別賞は、「私の思い」をアイヌ語で語った、一般から応募した小沼史子さん(白老町楽しく、やさしいアイヌ語教室)でした。

この催しは毎年開かれる予定です。



| | | | |
|----|----------|----|-------------------------------------|
| 10 | 20日 | 水 | 第12回アイヌ語教室 |
| | ～ 22日 | ～金 | 「アイヌ民俗文化財専門職員等研修会」(札幌市) |
| 月 | 26日 | 火 | 第13回アイヌ語教室「ユカラを読む2」 |
| 11 | 4日 | 木 | シリカブの送り儀礼 |
| | 6日 | 土 | 第14回アイヌ語教室 「アイヌ語弁論大会イタカンロー」(札幌市) |
| | 7日 | 日 | 秋のコタンノミ |
| | | | シンポジウム 「食材王国 しらおい 誇りある故郷づくり」 |
| | 10日 | 水 | 第16回アイヌ語教室 「フンペ エヌ カラーヤ疑問文ー」 |
| 月 | 17日 | 水 | 第17回アイヌ語教室「まんがでウエベケレ3」 |
| | 20日 | 土 | 第3回アイヌ文化教室 「アイヌの歌謡について」 講師:萩中美枝氏 |

スイスからの訪問者

アイリン・ヒツケルさんは17歳の高校生で、学校の卒業課題として選んだ「アイヌ民族と現状」の取材のために北海道を訪れました。

彼女は、自分が日本人の血を受け継ぎ、何度も日本を訪れているのに、アイヌ民族について知らなかったことを、アイヌの人々に対して失礼だったと思い、この課題を選んだのだそうです。

9月28日から、札幌、旭川、二風谷などをまわって、10月8日から4日間、アイヌ民族博物館に滞在し、職員のお手伝いをしながら勉強をしました。

12日に北海道を離れましたが、「白老では、今までの調査を整理する時間が持てました。ポロトが好きになったので、卒業したらここで働きたい。雇ってください。」と名残惜しそうに話していました。

シト(団子)作りを手伝うアイリンさん



編集者のことば

アイヌ民族博物館には北海道犬の成犬が4匹いますが、今月中頃、子犬(生後約1ヶ月)が3匹加わりました。

人より犬が大好きな私は、お昼の休み時間には駆けつけて、ぬいぐるみのような子犬たちに癒されています。お客さんたちにも、かわいいかわいいと、大人気です。

北海道犬は、アイヌの人達の、狩猟になくてはならないパートナーでした。この子たちも、いつかたのもしく成長するんだ

なあ、としみじみ思います。りっぱに育ててほしいと思う反面、いつまでもこのままでいてほしい。

立ち去る私を成犬のユウが、得意の「知らんぷり」をして見ていました。本当はかまってほしいのに。
木田瑞恵



- コタンメールはホームページでも見られます。

THE AINU MUSEUM アイヌ民族博物館

URL: <http://www.ainu-museum.or.jp>

E-mail: museum@ainu-museum.or.jp